

文化情報を紹介するコーナーです。
皆さんの情報などを藤樹の里文化芸術会館（☎32-2461）までお寄せください。
締め切りは毎月25日です。

藤樹の里文化芸術会館 **湖西芸能フェスティバル 2011**

7/29・30
10時30分 開演 (両日とも)
全席自由
観覧無料

湖西地域で活動されている皆さんによる公演です。舞踊や大正琴、民謡やカラオケなど、多彩な内容をお楽しみください。
☎藤樹の里文化芸術会館 ☎(32)2461

藤樹の里文化芸術会館 **劇団うりんこ公演 「ぼくってヒーロー？」**

7/9
14時 開演
全席自由
一般 1,000円
高校生以下 500円 (当日200円増)

毎年おなじみの劇団うりんこ公演。今年は、スーパー泣き虫の少年が、最高のヒーローになる！ぜひ家族そろってほしい、元気と勇気がいっぱいのお物語。
★託児サービスあり（7月2日までに事前申込）
☎藤樹の里文化芸術会館 ☎(32)2461

ガリバーホール **オペラを身近に！ ～「ドン・パスクワレ」ハイライト～**

7/10
14時 開演
全席自由
一般 3,000円 (当日3,500円)
高校生以下 2,000円

本格的な演奏でわかりやすいオペラ・ハイライト・コンサート。今回は、ドニゼッティの名作喜歌劇、オペラ「ドン・パスクワレ」です。
▼出演
・ソプラノ 山本隆子
・バリトン リッカルド・バラッティア
・バリトン 嶋本晃
・テノール 小林大作
・ピアノ アリアーノ・フレディアーニ

☎ガリバーホール ☎(36)0219

高島市民会館 **陸上自衛隊第3音楽隊演奏会**

8/27
14時 開演
全席自由
観覧無料

全国的にも有名な第3音楽隊による素晴らしい演奏会をご鑑賞いただけます。
▼観覧方法
入場整理券を発行します。入場整理券がなくなり次第締め切りとなります。
☎高島市民会館 ☎(22)1764

湖西地域の文化情報

ギャラリー Cafe Cozy **「色とりどりの器展」** 梅山 克

7/10～15
10時～22時

7/16～31
10時～22時
鑑賞無料

※最終日 17時まで
☎今津町舟橋2-8-10 ☎(22)1414

ギャラリー RIPL **「清湖園 糸谷龍夫絵画展」**

7/10～31
9時30分～20時30分
鑑賞無料

☎今津ショッピングセンター リプル ☎(22)6500

舞台構成やアトラクション出演者などのご相談にお答えします！

「舞台イベントを企画しているけど、想いが形にならない！」
「アトラクションの出演者、誰に頼んだらいいかわからない！」

舞台に関するお悩みはありませんか？ 高島市文化ホールでは、舞台イベントに関する相談業務を始めます。専門的な立場から、舞台の構成・演出やアトラクションの出演者のご紹介など、舞台に関することなら、お気軽にご相談ください！ 皆様のご利用、お待ちしております！

☎高島市民会館 ☎(22)1764
☎藤樹の里文化芸術会館 ☎(32)2461

高島市民会館 **関西フィルハーモニー管弦楽団 リラックスコンサート**

9/18
14時30分 開演
1階 全席指定 2階 全席自由

迫力満点！ 本物のフルオーケストラの演奏を聴こう。今年は「チャイコフスキー・交響曲第5番」をメインに演奏します。

☎高島市民会館 ☎(22)1764

マキノ資料館 ●コーナー展示 **川裾祭の歴史**

【コーナー展示】
7/20～
9時～16時30分

共催：「村の日記」研究会
マキノ町知内で7月に行われる祭を紹介

●常設展示 **山と湖の生活文化を伝える**
☎マキノ資料館 ☎(27)1484

朽木資料館 ●コーナー展示 **植輪福笑いにチャレンジ**

【コーナー展示】
7/10～31
9時～16時30分

●常設展示 **朽木の生活文化を伝える**
木地師関連資料と陣屋敷、朽木氏関係文書を展示
☎朽木資料館 ☎(38)2339

高島歴史民俗資料館 ●コーナー展示 **北方探検家 馬場正通と近藤重蔵**

【コーナー展示】
7/10～31
9時～16時30分

●常設展示 **鴨稻荷山古墳・鴨遺跡・大溝城を調べる**
鴨稻荷山古墳と鴨遺跡・大溝城から出土した考古資料を中心に展示
☎高島歴史民俗資料館 ☎(36)1553

ギャラリー 散歩路 **「弘友会書展」** 書道クラブ 田谷貞夫ほか

7/4～18
7/24
～8/10
10時～17時30分

☎今津町今津 1589-1 ☎080(6182)1516

ギャラリー 藤乃井 **「ミニ公演～日本の能・狂言に魅せられて～」**

7/25
13時30分～
鑑賞無料

「チエコ人から見た、魅力ある日本の伝統芸能」をテーマにお話いただきます。
☎安曇川町田中426 ☎(32)0150

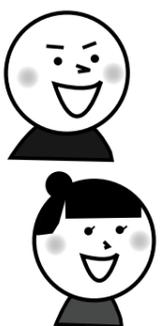


高島から自殺をなくすために
自殺と精神疾患

6月10日に内閣府から、昨年の自殺者数が13年連続で3万人を超えたと発表がありました。自殺の原因・動機として健康問題が最も多く、約半数を占めています。統合失調症やうつ病等の方が十分な治療を受けずに自殺に至る場合もありますが、精神疾患について正しい理解が広がることにより、早期回復や自殺予防につなげることが出来ます。今回は「統合失調症」についてお知らせします。

統合失調症とは

1. 15歳から35歳までに発症するケースが多く、男女ともに100人に1人から2人になる病気であり、決して特別なものではありません。
2. 病気のものが遺伝するわけではありません。原因は脳の神経伝達物質の乱れが原因の1つとして考えられています。
3. 治療の基本は薬物療法です。薬を服用することにより、症状のコントロールが出来ます。
4. 統合失調症の診断を受けたからといって社会生活が送れない、一生入院しなければならないということはありません。病気がうまく付き合うことにより、その人らしく地域で暮らすことが出来ます。



☎健康推進課 ☎(25)8078 ☎障害福祉課 ☎(25)8516

【症状】
症状の現れ方は様々で個人差があります。

陽性症状 (発症後や再発時の急性期に現れます)

幻聴や幻視、被害妄想や誇大妄想、思考や会話の混乱、興奮など

「いつも誰かが耳元で話しかけてくる」「誰かに見張られている」などの思いがあり、それに何とか対応しようと大声を出すなど、非常に多くのエネルギーを使います。

陰性症状 (陽性症状が落ち着いたら後に現れます)

極度の眠気や体のだるさ、興味心の薄れ、根気や集中力の低下、会話が続かないなど

エネルギーを使い果たし、とても疲れています。陽性症状がおさまったとはいえない不安定な時期でもあるので、十分な休息が必要です。

回復に向かって

治療の基本は薬物療法で、とくに陽性症状が活発に現れているときは、積極的に治療を受けましょう。陰性症状が現れてくると「やる気が出ないのは、薬のせいではないか」と思い、服薬をやめ

てしまうことがあります。すると再び陽性症状が活発になる（これを再発や再燃といいます）ことがあります。服薬をやめて2年以内に80%が再発する、という報告もあります。

薬物療法と併せて、病気への理解を深めるために本を読んだり学習会に参加すると再発につながりにくくなります。不眠、不安、がらばりすぎ、孤独の4つに注意し、焦らずに治療を続けましょう。

家族の方へ

統合失調症は誰のせいでもありませんし、不治の病でもありません。「陽性症状が活発なときのこと忘れられない」という家族はたくさんいます。再びそうならないために何が必要か、家族も病気への理解を深めましょう。また家族自身の仕事や楽しみ、生きがいを大切にしてください。「本人のために」と一生懸命になればなるほど、家族が社会から孤立し、悩みを抱え込んでしまうこともあります。家族自身が心身ともに健康であることも、病気の回復に必要です。